

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月08日

計画の名称	鳥取市における安全で安心なゆとりある住環境の整備（地域住宅計画 期）（重点）												
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	鳥取市												
計画の目標	「高齢者や子育て世帯等に配慮した住環境の提供を推進し、安全で安心なゆとりある住まい・まちづくりを図る。」												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	842	A	803	B	0	C	39	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.63	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R4末
1	公的賃貸住宅のバリアフリー化を図る。 バリアフリー化の実績により算出 住宅のバリアフリー化率（%）＝バリアフリー化された住宅数（戸）÷全住宅数（戸）	39%	%	41%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	鳥取市	直接	鳥取市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等整備事業)(建替)	PFI手法のBT方式で公営住宅建替(長瀬)	鳥取市						798		策定済	
	A15-002	住宅	一般	鳥取市	直接	鳥取市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等整備事業)(建替)(移転)	居住者移転費用	鳥取市							5		-
											小計						803			
											合計						803			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R02	R03	R04	R05	R06						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	鳥取市	直接	鳥取市	-	-	公営住宅等関連事業	居住者移転費用、駐車場整備、外構整備	鳥取市							39	-			
		公営住宅の建替により、住民の移転費用や外構整備を行い居住性の向上を図る																				
													小計							39		
													合計								39	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業担当課で実施	事後評価の実施時期 令和5年9月
	公表の方法 ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・市営住宅長瀬団地整備事業により、バリアフリー住宅の割合が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・市営住宅長瀬団地整備事業に伴う移転補償事業により、円滑な事業の実施ができた。
特記事項（今後の方針等）	
・バリアフリー化を積極的に進めていくとともに、老朽化が進む市営住宅の住戸改善などの住環境整備を計画的に進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	当初現況値39%を最終目標値41%にする	
	最終目標値	41%
	最終実績値	40%
		目標値には達しなかったが、本計画の建替え戸数は計画どおりバリアフリー化できたため、目標値はほぼ達成した